

半田のおトクなきっぷ

発売・設定期間 2025年4月25日(金)～2026年3月31日(火)

設定除外日: 2025年5月12日(月)・6月16日(月)・11月17日(月)・12月1日(月)・12月29日(月)～
2026年1月3日(土)・1月26日(月)

半田散策きっぷ 01

当日お求めOK! / おひとり様からOK!

主な駅からの発売金額(大人おひとり様)

小児の設定もございます

名鉄名古屋駅 **2,090円** 金山駅 **1,990円**

小児金額 名鉄名古屋駅 **1,290円** 金山駅 **1,230円**

知多半田駅・住吉町駅・半田口駅までの
往復割引乗車券

(帰りの乗車券で知多半田駅・住吉町駅・半田口駅間は1日乗り放題)

+

半田赤レンガ建物
常設展示室入場券
または**企画展入場券**

+

お楽しみチケット 2枚

「お楽しみチケット対象商品」からお選びください。

半田グルメきっぷ 02

当日お求めOK! / おひとり様からOK!

主な駅からの発売金額(大人おひとり様)

小児の設定はございません

名鉄名古屋駅 **3,890円** 金山駅 **3,790円**

知多半田駅・住吉町駅・半田口駅までの
往復割引乗車券

(帰りの乗車券で知多半田駅・住吉町駅・半田口駅間は1日乗り放題)

+

半田赤レンガ建物
常設展示室入場券
または**企画展入場券**

+

お楽しみチケット 2枚
「お楽しみチケット対象商品」から
お選びください。

+

ランチチケット
「ランチチケット対象店舗」から
1店舗をお選びください。

●名鉄名古屋方面からお越しの方は知多半田駅まで、河和・内海方面からお越しの方は半田口駅までの往復運賃が割引となります。(瀬戸線の各駅および知多半田駅・住吉町駅・半田口駅が発駅となる設定はございません)●帰りの乗車券をご利用で知多半田駅・住吉町駅・半田口駅間は、1日乗り放題となります。●半田赤レンガ建物常設展示室入場無料日は、入場料と同等の特典をお渡しします。また、展示替えのため企画展が開催されていない場合がございます。詳しくは半田赤レンガ建物HPでご確認ください。●半田散策きっぷは、中学生の方がご利用になる場合、割高となる可能性がございます。

お問合せ・お求め

名鉄出札係員配置駅(弥富駅・赤池駅を除く)・名鉄名古屋駅サービスセンター・名鉄観光サービス一部支店

半田市では、様々なイベントが開催中!

詳細はこちら!



発酵・醸造を核とした食の観光

発酵ツーリズム東海

期間 5月17日(土)～7月13日(日)

東海3県にて、「発酵」をテーマにした展覧会・蔵開き・体験企画等が行われるイベント。愛知県のメイン会場である半田市(会場:ミツカンミュージアム)では、期間中に「すし」をテーマにした展覧会等が行われます。

半田運河発酵マルシェ

期間 7月5日(土)・6日(日)予定

半田運河周辺で、発酵をテーマにしたマルシェイベントを開催します。



半田赤レンガ建物

(ハントーフードハント)

HANT FOOD HUNT

-さあ、うまいの、ワクワクへ-

期間 4月25日(金)～7月13日(日)

「知多半島の食文化の魅力」をテーマとした体験型の展示を開催します。

マルシェ
イベントも
開催!

半田赤レンガ建物

(ハントーハント)

HANT HUNT マルシェ

期間 6月28日(土)・29日(日)

カプトビールフェスタ

期間 6月14日(土)・15日(日)

復刻から今年で20周年のカプトビール。明治・大正に加え、好評だった昭和カプトビールを3日間限定販売。ビールに合うおいしいグルメも満喫できます!



半六庭園の風鈴飾り

期間 7月～8月予定

半六庭園内に約1,000個の風鈴が設置されます。涼やかな音色に癒されながら、お散歩したり、写真を撮ったりして「夏の半田運河」をお楽しみください。



半田運河Canal Night

期間 8月1日(金)・2日(土)予定

夕暮れから夜へと移りゆくとき、半田運河は数々のヒカリのアートに彩られ、スロウな時間が流れます。キッチンカーや夜店も並ぶ、幻想的な夏の夜です。



ごんの秋まつり

期間 9月23日(火・祝)～10月5日(日)

新美南吉の代表作「ごんぎつね」の舞台である矢作川が、その世界を表現しようと地域の人々の手で創り出された、300万本もの彼岸花で真っ赤に染まります。



●お出かけの際は、各施設の営業情報をご確認の上、お越しください

掲載のイベント・観光情報についてのお問合せ先▶
(きっぷについては上部に記載の発売箇所までお問合せください)

半田市観光協会

TEL 0569-32-3264

※写真・イラストはすべてイメージです。※掲載内容は2025年5月1日現在のものです。※各施設、臨時休業させていただく場合がございます。

いつものお出かけがもっと楽しくなる!
エリア版MaaSアプリ

CentX
詳しくはこちら



CMやポスターに登場する
スポットを紹介!

EMOTION!
特設サイトへ



愛される味をつくった場所もまた、愛される場所でした。

半田赤レンガ建物

半田市 × MEITETSU



EMOTION!

レールの先で、ココロは動きだす。

EMOTION #12

半田市

握りずしの歴史は、ここから動き出した。

江戸にはじまり全国へと広がった握りずしブームは、ミツカングループの創業者がつくった「粕酢」がきっかけ。蔵の跡地につくられた体験型博物館「MIM」で、醸造技術や食文化の魅力を、見てさわって楽しめます。創業の味「三ッ判・山吹・味ばん」ストラップなどのお土産も要チェック。（※見学は事前予約制）

location: MIZKAN MUSEUM(MIM) 1



きらきらとゆらめく水面を眺めながら、まちを散策。

日本三大運河のひとつである半田運河。運河沿いには黒板囲いの醸造蔵や、豪商の邸宅が並んでおり、歩いているだけで、当時の雰囲気味わえます。

location: 半田運河 2

このまちの文化にふれる時間。庄厳さを全身に感じながら、

国指定重要文化財の小栗家住宅は、江戸末期から昭和初期に建てられた広大な屋敷群。現在、建物の一部に設置された「_unga」(すべーす うんが)は、醸造・発酵文化の情報発信拠点となっており、お酢の味比べ体験などを楽しむことができます。

location: 小栗家住宅 3



かつての味を口いっぱい頬張り、握りずしのルーツを味わう。



江戸の味を現代版にアレンジした「尾州早ずし」はぜひ一度食べてみたいところ。なんと一貫の大きさは現在の約2〜3倍。これは自分の目と口で体感したいですね。そんな「尾州早ずし」が食べられるのは、今は豊場屋南店だけ。（3人前以上、3日前までに要予約）

location: 豊場屋南店 4

当時の姿に想いを馳せ、蘇ったカブトビールをごくり。



明治時代にカブトビールの製造工場として建てられた半田赤レンガ建物。5層になっている壁や樽の形に合わせた壁など、ビール工場ならではの特徴的な造りも見どころ。帰りにはカフェで、明治と大正のカブトビールを飲み比べてみてはいかがでしょうか。

location: 半田赤レンガ建物 5



「醸造のまち」を歩いて、学んで、味わう1日。

江戸情緒あふれるまちで、日常から離れたひとときを。名古屋から電車で揺られること約30分。ここ愛知県半田市は、醸造業で栄えた江戸時代の面影を残し、どこか情緒的な雰囲気を醸成しています。半田のまちが繁栄する鍵となった半田運河を中心におでかけスポットが集まり、散策しながら、このまちの醸造文化について学んだり、実際に口にして味わってみたり、五感で歴史を辿ることができます。じつは、半田運河周辺の景観は、都市景観大賞を受賞したことも。黒板囲いの蔵と、大きく広がる青い空のコントラストが美しく、その下をゆったりと流れる運河沿いを歩いているだけで、まるでタイムスリップしたような気分。時代が変化しても守られ続けてきたその町並みは、堂々としていて頼もしく、今を生きる私たちにも力を与えてくれるようです。